資料１－２

令和８年度　地域自立支援協議部会ワーキング会議の開催結果について

１　ワーキング会議の概要

（１）開催日時

令和８年７月 28 日（火）　午後６時 30 分～午後８時 30 分

（２）会議メンバー

潮谷部会長、岡委員、北野委員、酒井（京）委員、酒井（大）委員、鳥屋委員、平田委員、與那嶺委員

（３）審議事項

①各区地域自立支援協議会から報告のあった市の施策として取り組むべき課題について

②その他

２　各区地域自立支援協議会から報告のあった市の施策として取り組むべき課題について

（１）課題に対して取り組んだ評価

・課題に対して取り組んだ結果、現場でどうなったか評価していく必要がある

・区が課題として挙げたことと、取組みが一致しているかも含めて評価していくことが大事

・評価して次どうしていくか、ＰＤＣＡで見ていくことが大事

・取組みを挙げた時に、どう評価していくかも出しておく方が良いのではないか

（２）地域課題に対する各区へのフィードバック

・実際の現場レベルでは取り組み内容がおりていない

・市で議論された課題の取り組み状況について、各区に丁寧にフィードバックすることが大切

・各区の自立支援協議会のメンバーに取り組み状況が分かるように周知していくことが必要

（３）課題抽出の方法

・地域課題をどう考えているか、各区へヒアリングをするのはどうか

・基幹相談支援センター連絡会で地域課題を共有し意見交換してはどうか

・市の自立支援協議会で諮る内容の精査も必要

・課題を類型別に総合的に見て、取り組みを進める方法も必要ではないか

（４）令和８年度地域課題

①計画相談支援

・計画相談の利用率について、パーセンテージだけでなく、計画相談の何を充足させていくのかを明確にしていく必要がある

・自立してセルフプランに移行していくことと、望まないセルフプランのへのアプローチできる体制と、両方必要

・モニタリングの必要度を見極める視点も必要

②事業所の質の向上

・就労系サービスの適正化は喫緊の課題

・支給決定のあり方とサービスの適正のあり方について議論が必要

・良い事例を集約してオープンにしていくのはどうか